

## 第4回 まちの改善に向けたプレイスメイキング検討会 での主なご意見

### 【事例紹介① 本木委員】

#### 「高崎・中之条町事例紹介」

- ・高崎市・中之条町での取組み
- ・パブリックとソーシャルの考え方について

#### ●高崎市・中之条町での取組み

高崎市での「BBQPeople」「本町しもたや」などの取組、中之条町での「ふるさと交流センターつむじ」の取組を紹介。

- ・BBQPeople では、地元と信用金庫がファンドを立ち上げ、出資し事業を実施。バーベキュー以外にもビアフェスや結婚式、夏はプールを設置するなど、様々な人が集う場所となっている。
- ・本町しもたやでは、1階はコーヒースタンド、2階は「ソーシャルリビング」と名付けた会員制のシェアスペースを配置。会員30人で1物件買取・リノベーションできるビジネスモデルとなっている。
- ・ふるさと交流センターつむじでは、当初、運営管理をクリエイターチームのディレクション担当者がすべてを任せ実施。テナントには、まちに帰ってきた人・頑張っている人が入り、田舎にしかない価値・デザイン・暮らしの素敵さが公共空間で表現されている事例。

#### ●パブリックとソーシャルの考え方について

ぐんまCSOの事例をもとに、地域社会に公（パブリック）、共（ソーシャル）、私（プライベート）という領域があるとするならば、そのうち自分たちでできる共（ソーシャル）という行動の部分を、行政だけに委ねるのではなく、自分たち自身で実施を目指す取組を紹介。

## 【事例紹介② 温井委員】

「豊かな暮らし空間の実現目指してープレイスメイキングの視点から」

・つくばロケーションヴィレッジ、ウェルネスつくばシティ桜の取組について

### ●つくばロケーションヴィレッジ

つくば市にある、32区画からなる住宅地の管理組合の組成・運営に関する事例を紹介。

・隣接する森を管理しているNPO法人の指導により下草刈りの実施、私有地・共有地、さらに公道の一部を使ったガーデンパーティの実施等を行っている。子供も高齢者も集まり、多様なコミュニティが形成されている。

### ●ウェルネスつくばシティ桜

6haの研究用地が空いたため住宅地としてオープンした163区画の分譲地での管理組合の組成・運営に関する事例を紹介。

・UR「テクノパーク桜」プロジェクトの開発の一つで、既存の住宅地と新しい住宅地、商店会を「健康」というテーマで周りをつなぐため、歩道の設置や舗装検討、また、中央の道は封鎖し広場としても活用できるため夏祭り等を実施している。

## 【意見交換】

### ●プレイスメイキングの概念

・イベントの一過性のようなものと、普遍的にあるものとの関係を考える必要がある。若い人たちが最初にやりたいと言うのは、恒常的な場所づくりということはほぼなく、一瞬のスパークのようなイベント。自分で手掛けると大変さが分かり、イベント疲れのようになり、イベントだけではだめだと感じる。ハードルは高いけれど、そのもう一つ先に恒常的な場所づくりがあると思う。

・プレイスメイキングというおしゃれ感が必要な感じがするが、そうは思わない。おしゃれであることよりも、本質を伝えるデザインをどうその中に埋め込むかがプレイスメイキングには重要。前回議論で出た「クラフト」という言葉につながる。表面的なデザインではないということ。

・ニューヨークあたりもホームレスの人が結構いるが、あまり気にならない。その他の楽しんでいる人が普通にポジティブな感じをつくっている。だから、いかにポジティブをつくれるか。プレイスメイキングの良い事例を見ると、

それがすごくよくできている。

#### ●プレイスメイキングの方法論

- ・プレイスメイキングというと意外と屋根がないことが多いと思うが、屋根が重要だと思っている。
- ・クラフト的なデザインと、もう一つは、居ていいんだよ、お茶を一杯持つだけで座れるということと同じように、ただ掃除をするという目的があればそこにいられる等、そこがセットかなと思う。活動に参加していれば、そこに居ていいんだよと許してもらっている気がする。やることを用意してあげることもセットのような気がする。

#### ●パブリックとソーシャル

- ・私たちはソーシャルをまとう一部で、パブリックを担う一部。だからこそ私たちが主体的に動かないと「公」も「共」も進まない。「公」と「私」が分断された地域社会ではなく、「私」の積み重ねが「公」そのものとなる、そもそもは一つである。一個人の強い思い、行動力、当事者意識によってこれは実現するだろう。
- ・パブリックは不特定多数ではない。ソーシャルの積み重ねがパブリックになっていく。パッとこれはパブリックですよと言われても、自分事にならないので、パブリックを自分事にするためにも顔が見える関係から積み重ねていくことが大事。

#### ●URの役割

- ・URと民間企業の違いで収益性の点がある。どのくらいで回収するかという時間軸の問題で、短期的に回収できなくても長期的に回収出来れば良い、土地を持ち続ける事ができる等、民間企業ではなかなか出来ないような事ができる部分がある。
- ・例えばリーシングなどでも、パブリックマインドを持った民間であればいいが、そこがパブリックマインドを持っていないと、単なる儲かるリーシングになってしまう。その組み合わせをURにプロデュースしてほしい。

以 上